

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	1-2-3		事業名	さっぽろ夢大陸「大志塾」事業		
達成目標の状況						
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)
参加人数		186人	167人	255人	200人	200人
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)						
<p>市民との連携、市民参加 本事業は、参加者である市内小学生が自身の希望・想像する活動を自分たちで準備・調査・計画し、お互いに相談・協力しながら、手作り型にはまらない体験活動及び活動場所作りを継続的に実施するという、子ども自身が主体的に参加する事業である。これにより、自主性や創造性、協調性をこれまで以上に育むことが期待される。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] (該当なし) [情報協力] (該当なし) [その他の協力] (該当なし) 市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>						
評 価 (成 果)				課 題		
<p>事業に参加することにより、自分たちで話し合い考えたことを実際に自分たちで取り組んでみるという、普段の生活では体験できない、貴重な体験機会を得ている。また、自分たちで考え、自らが行動することで、創造性・自主性が養われる。</p> <p>事業の対象者が小学1年生から6年生ということもあり、様々な学年との交流の機会を得ることができるうえ、全市からの参加者が集うことで、違う学校の子もたちとの交流機会も得ることができる。また、学校の友達ではない子どもたちと協力し行動することで協調性が養われる。</p>				<p>子どもたちの多様な意見や考えを実現するための時間や技術的な支援ができる大人の人数、活動材料について不十分であるため、意見の実現に制約が生じる。限られた条件の中で、いかに工夫して子どもたちの意見を実現に結びつけるか、プログラム上の工夫が必要である。</p> <p>事業実施により、子どもたちの体験を広げる支援はできるが、地域的な偏りがあるため、事業に参加する以外の場では子どもたちの多様な体験機会の充実が図られていない。</p>		
今後の事業の予定・方向						
限られた条件の中で、多彩な活動ができるよう、様々なフィールドや人材の活用を検討する。これにより、子どもたちにとって、より身近な場所で、多様な体験機会が得られるよう、既存のストックを活用しながら、新たな事業形態を開拓していく。						

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		1-2-3			事業名	さっぽろ夢大陸「大志塾」事業				
事業費の推移										
項目				19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費			3,915	3,695	3,695	3,695	15,000		
	財源内訳	国・道	支出金	0	0	0	0	0		
		市	債		0	0	0	0		
		その他			400	400	400	1,600		
		一般財源			3,515	3,295	3,295	13,400		
予算	事業費			3,915	3,339	3,172	-	10,426		
	財源内訳	国・道	支出金	0	0	0		0		
		市	債		0	0	0	0		
		その他			400	0	0	400		
		一般財源			3,515	3,339	3,172	10,026		
実績	事業費			3,933	3,387	-	-	7,320		
	財源内訳	国・道	支出金	0	0			0		
		市	債		0	0		0		
		その他			334	0		334		
		一般財源			3,599	3,387		6,986		
事業費の進捗率				(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)						69.9%
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
(全体)										
[19年度]										
[20年度]										
[21年度]										